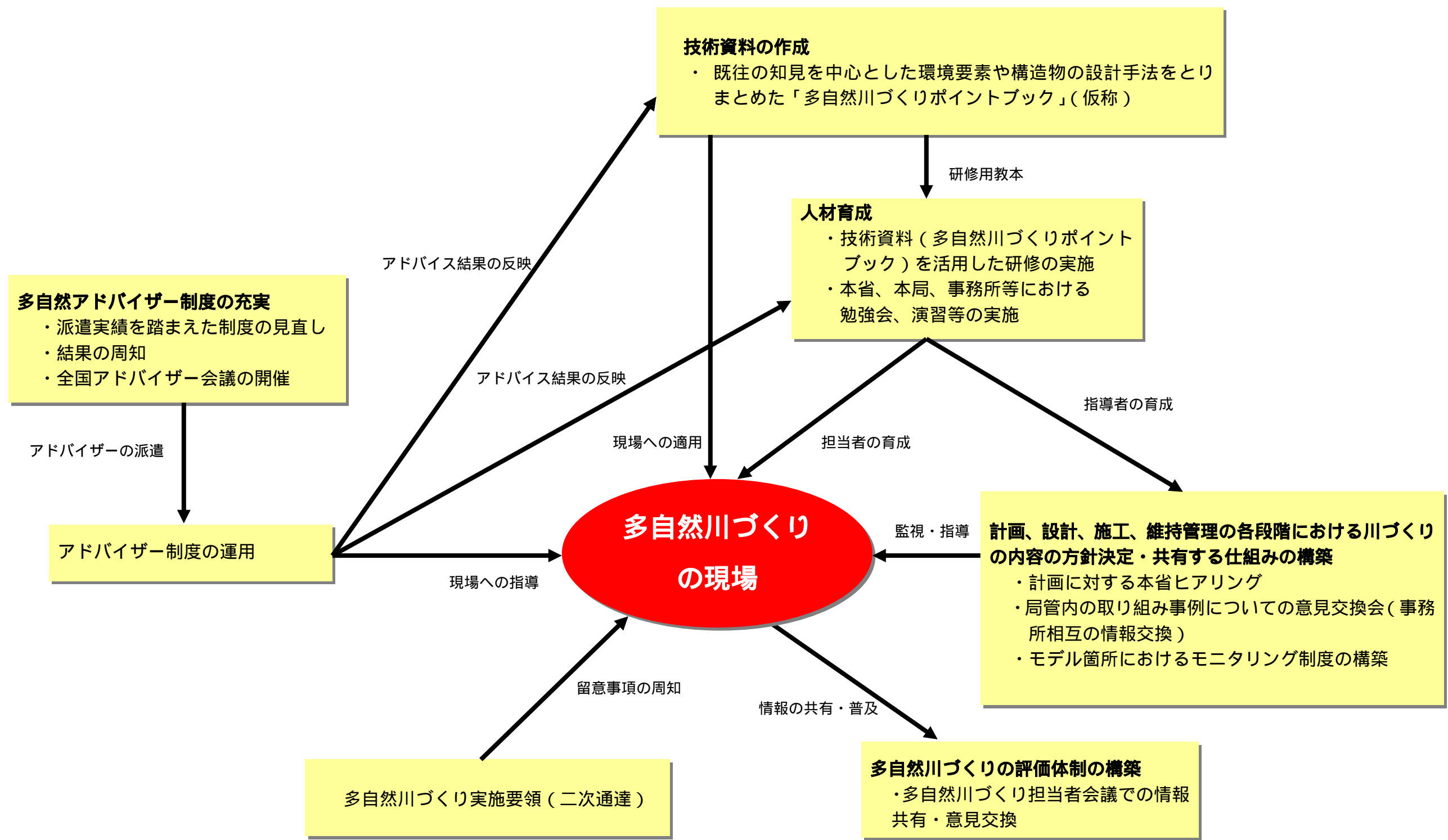


多自然川づくり推進のための施策（案）について

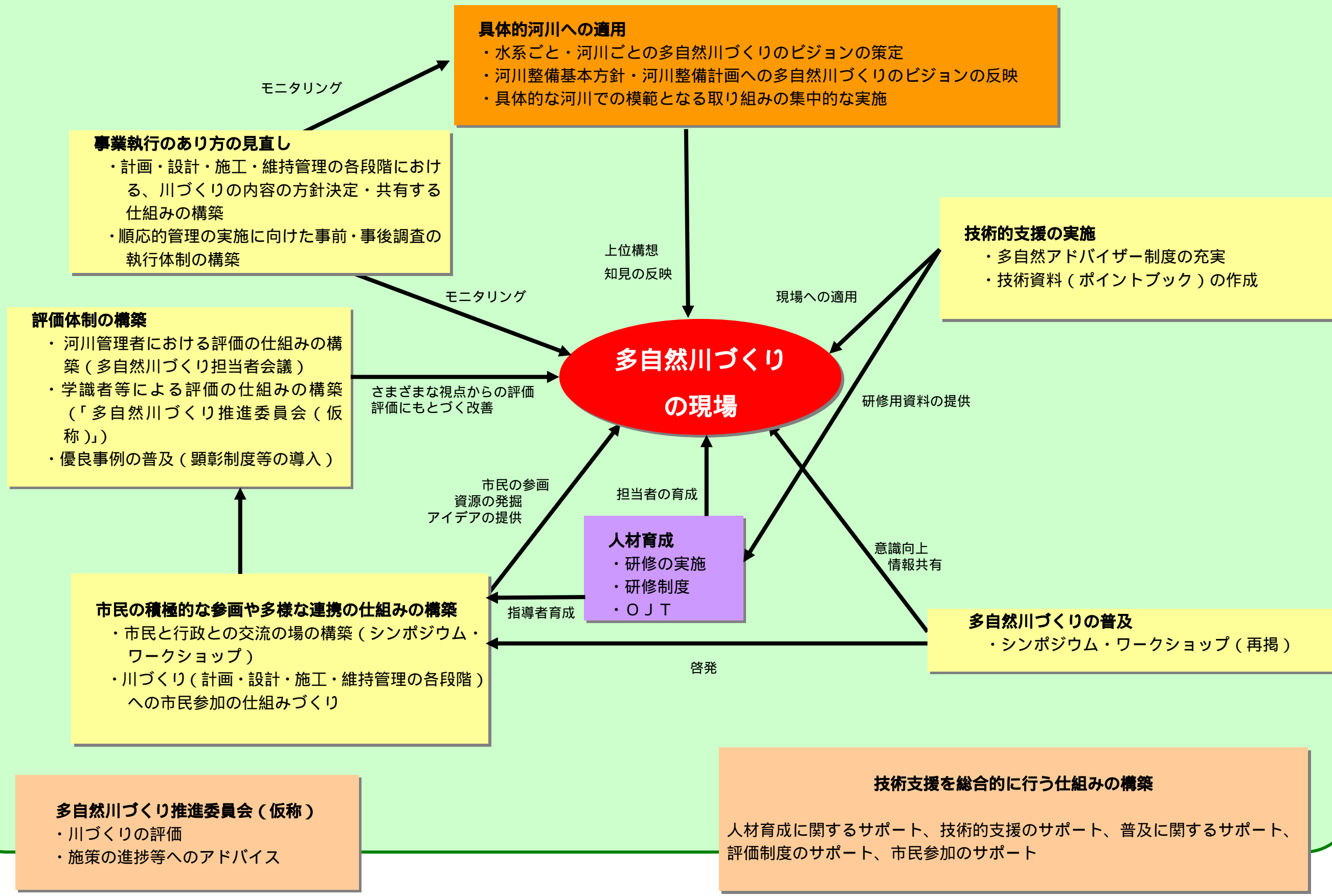
施策の方向性による分類

<p>(1) 課題の残る川づくりを解消するための施策</p> <p>課題が残る多くの事例について、その課題の解消を目指して、現在までの知見や技術が十分に活用されるような施策を展開し、早急に結論を得るように努める。</p>	<p>(2) 川づくり全体の水準を向上させるための施策</p> <p>川づくり全体の水準の向上をはかるために、中長期的に解決すべき問題も含めて、技術的な検討や仕組みづくりに取り組む施策を展開する。</p>	<p>(3) 多自然川づくり推進のための施策</p>
<p>多自然川づくりの設計技術等既往の知見のとりまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 既往の知見にもとづく環境・景観要素や構造物の設計手法等技術資料集の集大成（多自然川づくりポイントブック：特に中小河川を対象） <p>多自然川づくりの技術的支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 多自然川づくり実施要領（留意事項）の改訂 ■ 技術資料集（多自然川づくりポイントブック：特に中小河川を対象）を活用した研修の実施 ■ 多自然アドバイザー制度の充実および拡充 ■ 技術支援を総合的かつ効率的に行う仕組みの構築 <p>多自然川づくりの評価体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 河川管理者における評価の仕組みの構築（多自然川づくり担当者会議） ■ 学識者等による評価の仕組みの構築（「多自然川づくり推進委員会（仮称）」） ■ 優良事例の普及（顕彰制度等の導入） <p>事業執行のあり方の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 計画・設計・施工・維持管理の各段階における、川づくりの内容の方針決定・共有する仕組みの構築 ■ 順応的管理の実施に向けた事前・事後調査の執行体制の構築 <p>市民の積極的な参画や多様な連携の仕組みの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 市民と行政との交流の場の構築（シンポジウム・ワークショップ） ■ 川づくり（計画・設計・施工・維持管理の各段階）への市民参加の仕組みづくり <p>多自然川づくりの普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ シンポジウム・ワークショップ（再掲） <p>多自然川づくりを推進するための人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 勉強会・演習等の実施 ■ 技術者を対象とした研修制度の導入 ■ OJTの仕組みの構築 <p style="text-align: right;">太字は平成18年度の秋頃までに実施する施策</p>	<p>多自然川づくりの計画・設計技術の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 河道の平面・横断・縦断計画の立案手法の確立 ■ 河道内樹木を考慮した河道計画策定手法の確立 ■ 適切な河岸工法に関する技術開発 ■ 構造物のデザイン手法の確立 <p>多自然川づくりの河川管理技術の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 河道内樹木の管理に関する検討 ■ 外来種対策の検討 ■ 流量管理に関する検討 <p>河川環境の現状評価の充実と川づくりの目標設定手法の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 河川水辺の国勢調査等河川環境の現状評価に関する調査・検討の継続・充実 ■ 多自然川づくり推進のためのモニタリング手法の検討 ■ 河川環境目標の設定手法の確立 <p>変化に対する環境の応答の科学的な解明</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 物理系のインパクト・レスポンスに関する検討 ■ 生物系のインパクト・レスポンスに関する検討 ■ モデル河川によるケーススタディ <p style="text-align: right;">赤字は技術の向上・開発に関わるもの</p>	<p>多自然川づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 計画的かつ組織的な施策の推進（「多自然川づくり推進委員会（仮称）」） ■ 水系ごと・河川ごとの多自然川づくりのビジョンの策定 ■ 河川整備基本方針・河川整備計画への多自然川づくりのビジョンの反映 ■ 具体的な河川での模範となる取り組みの集中的な実施

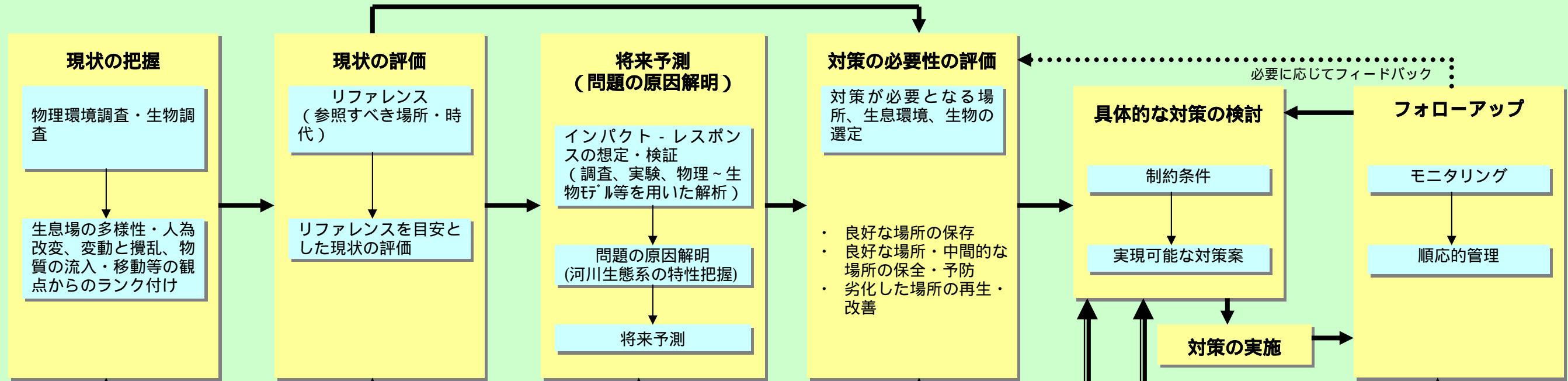
**課題の残る川づくりを解消するため、
緊急（平成 18 年度の秋頃まで）に実施する施策**



課題の残る川づくりを解消するための施策（多自然川づくりに関する制度づくり・仕組みづくり）



川づくり全体の水準を向上させるための施策（多自然川づくりに関する技術の向上・開発）



河川環境の現状評価の充実と川づくりの目標設定手法の確立

- 河川水辺の国勢調査等河川環境の現状評価に関する調査・検討の継続・充実
- 多自然川づくり推進のためのモニタリング手法の検討
- 河川環境目標の設定手法の確立

多自然川づくりの計画・設計技術の向上

- 河道の平面・横断・縦断計画の立案手法の確立
- 河道内樹木を考慮した河道計画策定手法の確立
- 適切な河岸工法に関する技術開発
- 構造物のデザイン手法の確立

変化に対する環境の応答の科学的な解明

- 物理系のインパクト・レスポンスに関する検討
- 生物系のインパクト・レスポンスに関する検討
- モデル河川によるケーススタディ

多自然川づくりの河川管理技術の向上

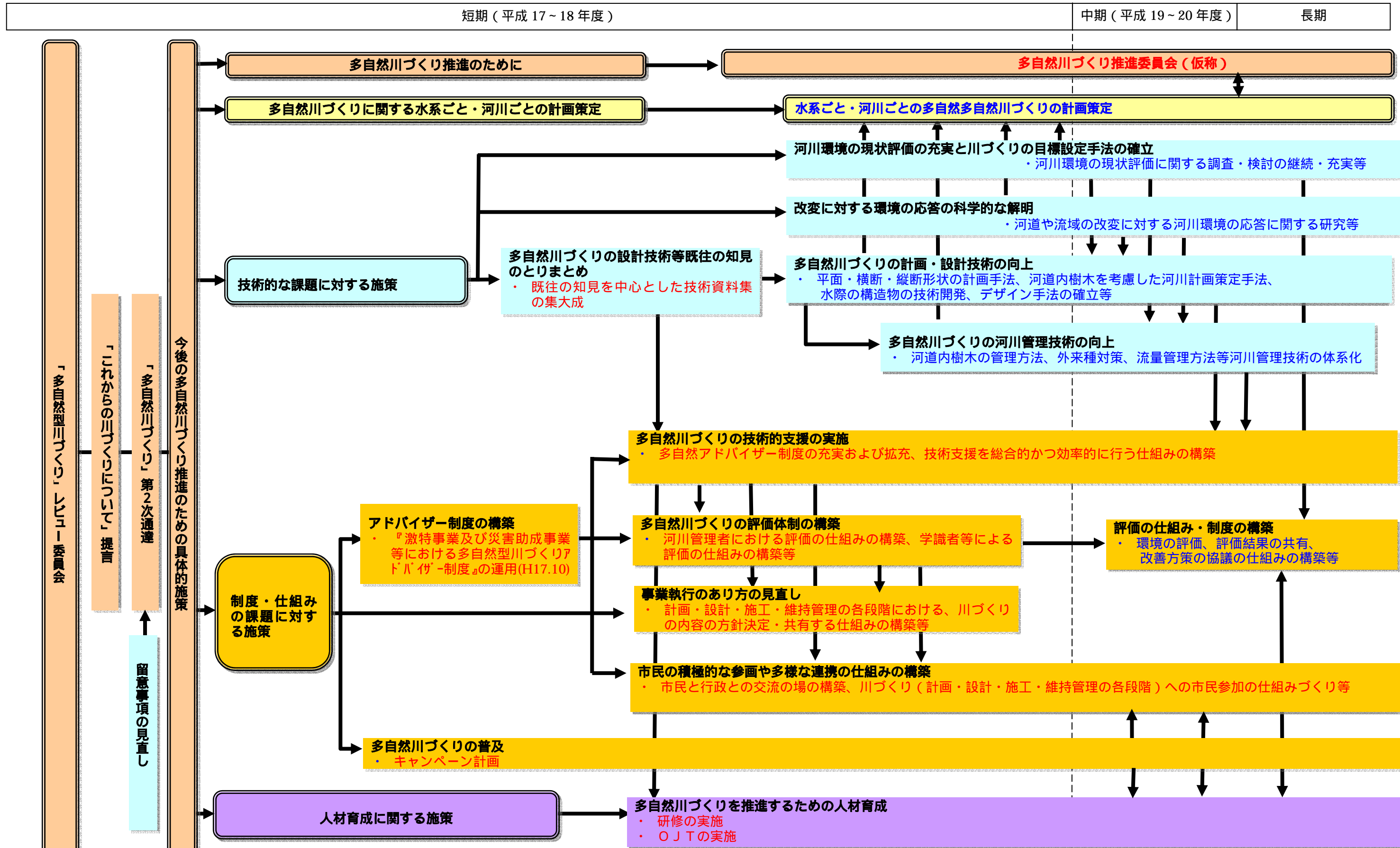
- 河道内樹木の管理に関する検討
- 外来種対策の検討
- 流量管理に関する検討

多自然川づくり推進委員会（仮称）

- 技術向上・開発等の各検討に対するアドバイス

今後の多自然川づくり推進のための施策と進め方

「課題の残る事例」については、その課題を解消することを目指して、現在までの知見や技術が十分に活用されるような施策を展開し、早急に結論を得るように努める。
川づくり全体の水準を向上させるために、中長期的に解決すべき課題も含めて、技術的な検討や仕組みづくりに取り組む施策を展開する。



「多自然型川づくり」アドバイザー委員会

「川づくり」第2次通達

今後の多自然川づくり推進のための具体的施策

(1) 技術的な課題に対する施策	(2) 制度・仕組みの課題に対する施策	(3) 人材育成に関する施策
<p>多自然川づくりの設計技術等既往の知見のとりまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 既往の知見にもとづく環境・景観要素や構造物の設計手法等技術資料集の集大成（多自然川づくりポイントブック：特に中小河川を対象） <p>多自然川づくりの技術的支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 多自然川づくり実施要領（留意事項）の改訂 ■ 技術資料集（多自然川づくりポイントブック：特に中小河川を対象）を活用した研修の実施 <p>多自然川づくりの計画・設計技術の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 河道の平面・横断・縦断計画の立案手法の確立 ■ 河道内樹木を考慮した河道計画策定手法の確立 ■ 適切な河岸工法に関する技術開発 ■ 構造物のデザイン手法の確立 <p>多自然川づくりの河川管理技術の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 河道内樹木の管理に関する検討 ■ 外来種対策の検討 ■ 流量管理に関する検討 <p>河川環境の現状評価の充実と川づくりの目標設定手法の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 河川水辺の国勢調査等河川環境の現状評価に関する調査・検討の継続・充実 ■ 多自然川づくり推進のためのモニタリング手法の検討 ■ 河川環境目標の設定手法の確立 <p>改変に対する環境の応答の科学的な解明</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 物理系のインパクト・レスポンスに関する検討 ■ 生物系のインパクト・レスポンスに関する検討 ■ モデル河川によるケーススタディ 	<p>多自然川づくりの技術的支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 多自然アドバイザー制度の充実および拡充 ■ 技術支援を総合的かつ効率的に行う仕組みの構築 <p>多自然川づくりの評価体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 河川管理者における評価の仕組みの構築（多自然川づくり担当者会議） ■ 学識者による評価の仕組みの構築（「多自然川づくり推進委員会（仮称）」） ■ 優良事例の普及（顕彰制度等の導入） <p>事業執行のあり方の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 計画・設計・施工・維持管理の各段階における、川づくりの内容の方針決定・共有する仕組みの構築 ■ 順応的管理の実施に向けた事前・事後調査の執行体制の構築 <p>市民の積極的な参画や多様な連携の仕組みの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 市民と行政との交流の場の構築（シンポジウム・ワークショップ） ■ 川づくり（計画・設計・施工・維持管理の各段階）への市民参加の仕組みづくり <p>多自然川づくりの普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ シンポジウム・ワークショップ（再掲） <p>多自然川づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 計画的かつ組織的な施策の推進（「多自然川づくり推進委員会（仮称）」） ■ 水系ごと・河川ごとの多自然川づくりのビジョンの策定 ■ 河川整備基本方針・河川整備計画への多自然川づくりのビジョンの反映 ■ 具体的な河川での模範となる取り組みの集中的な実施 	<p>多自然川づくりを推進するための人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 勉強会・演習等の実施 ■ 技術者を対象とした研修制度の導入 ■ OJTの仕組みの構築

(1) 平成 18 年度の秋頃までに実施する施策	(2) 速やかに取組を開始する施策
<p>多自然川づくりの設計技術等既往の知見のとりまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 既往の知見にもとづく環境・景観要素や構造物の設計手法等技術資料集の集大成（多自然川づくりポイントブック：特に中小河川を対象） <p>多自然川づくりの技術的支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 多自然川づくり実施要領（留意事項）の改訂 ■ 技術資料集（多自然川づくりポイントブック：特に中小河川を対象）を活用した研修の実施 ■ 多自然アドバイザー制度の充実および拡充 <p>多自然川づくりの評価体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 河川管理者における評価の仕組みの構築（多自然川づくり担当者会議） <p>事業執行のあり方の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 計画・設計・施工・維持管理の各段階における、川づくりの内容の方針決定・共有する仕組みの構築 <p>多自然川づくりを推進するための人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 勉強会・演習等の実施 	<p>多自然川づくりの技術的支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 技術支援を総合的かつ効率的に行う仕組みの構築 <p>多自然川づくりの評価体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 学識者による評価の仕組みの構築（「多自然川づくり推進委員会（仮称）」） ■ 優良事例の普及（顕彰制度等の導入） <p>事業執行のあり方の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 順応的管理の実施に向けた事前・事後調査の執行体制の構築 <p>市民の積極的な参画や多様な連携の仕組みの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 市民と行政との交流の場の構築（シンポジウム・ワークショップ） ■ 川づくり（計画・設計・施工・維持管理の各段階）への市民参加の仕組みづくり <p>多自然川づくりの普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ シンポジウム・ワークショップ（再掲） <p>多自然川づくりを推進するための人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 勉強会・演習等の実施 ■ 技術者を対象とした研修制度の導入 ■ OJT の仕組みの構築 <p>多自然川づくりの計画・設計技術の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 河道の平面・横断・縦断計画の立案手法の確立 ■ 河道内樹木を考慮した河道計画策定手法の確立 ■ 適切な河岸工法に関する技術開発 ■ 構造物のデザイン手法の確立 <p>多自然川づくりの河川管理技術の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 河道内樹木の管理に関する検討 ■ 外来種対策の検討 ■ 流量管理に関する検討 <p>河川環境の現状評価の充実と川づくりの目標設定手法の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 河川水辺の国勢調査等河川環境の現状評価に関する調査・検討の継続・充実 ■ 多自然川づくり推進のためのモニタリング手法の検討 ■ 河川環境目標の設定手法の確立 <p>改変に対する環境の応答の科学的な解明</p>

(1) 平成 18 年度の秋頃までに実施する施策	(2) 速やかに取組を開始する施策
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 物理系のインパクト・レスポンスに関する検討 ■ 生物系のインパクト・レスポンスに関する検討 ■ モデル河川によるケーススタディ <p>多自然川づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 計画的かつ組織的な施策の推進 (「多自然川づくり推進委員会 (仮称)」) ■ 水系ごと・河川ごとの多自然川づくりのビジョンの策定 ■ 河川整備基本方針・河川整備計画への多自然川づくりのビジョンの反映 ■ 具体的な河川での模範となる取り組みの集中的な実施